



南行通信

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

市川市立南行徳小学校

令和7年11月4日

校長 中村 由美子

「異臭」の正体は学びの宝物

校庭の木々の葉が、色を変え、落ち始める季節となりました。用務員の松丸さんと神作さんが、まるで公園のように落ち葉や枯葉をきれいにしてくれています。さて、先日、校庭で、鼻をつまみながら「先生、変なにおいがする!」「異臭だ!」と訴える声がありました。その「異臭」の正体は、地面に落ちた、銀杏（ギンナン）のにおいでした。

銀杏のにおいは、確かに強烈です。しかし、これが季節の知らせであり、昔から人々に食されてきた恵みであることを知る子どもは、多くありません。「なぜ、こんなににおいがするんだろう?」「どうして、この木ににおいのついた実がなるの?」と、子どもたちの疑問が生まれたので、調べてみました。すると、銀杏の強烈なにおいが種子を動物に食べさせるための戦略であることを知ることができました。(イラスト作成:生成 AI)

子どもたちにも、身の回りの「自然から、たくさんの不思議を見つけ、自分の頭で考え、調べ、体験する楽しさを知ってほしい」と願っています。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、子どもたちは寒さに負けず元気いっぱいです。今月も、学びの楽しさを深める活動を、家庭・地域と連携しながら進めてまいります。

「ハッチポッチクインテット」の皆さんと

10月16日「ハッチポッチクインテット」の皆さんによる打楽器演奏の芸術鑑賞教室を行いました。子供たちがよく知っている楽器である「木琴(マリンバ)」や「トライアングル」「カ斯塔ネット」などを使った演奏でした。拍手をしたり、体でリズムをとったりしながら、あっという間の1時間でした。子どもたちがよく知っているアニメや映画の曲では、一緒に口ずさむ姿もありました。今週は、「ドレミファ音楽会」があります。今度は、子どもたちが自分の演奏を披露します。現在一生懸命練習に励んでいます。友達と声や音を合わせることは、簡単そうに見えるけれど、とても難しいものです。ひとりひとりの子どもたちが、それぞれの目標に向かって取り組む姿を応援していただければ幸いです。

千葉ジェッツのコーチに教えてもらいました。

5年生が「千葉ジェッツ」のコーチとバスケットボールの学習を行いました。友達と協力してボールを投げたり、取ったりしながら、楽しく活動しました。バスケットの楽しさを感じました。



においがするぞ。



たべてみよう。



おなかいっぱい食べたリスは、地面にふんをしました。そのふんには、ギンナンがはいっていました。やがて、ギンナンは、新しい場所で新しい芽を出すのです。



よろしくお願いいたします。

10月から「齋藤 慈允(さいとう ちかまさ)」が着任しました。主として、3・4年生の社会科や総合的な学習、道徳を担当します。

また、11月1日付で「亀井 智哉(かめい ともや)」が葛南教育事務所より着任しました。主として、4年2組の学習を担当します。